

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

担当課 観光交流課

総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	魅力ある観光と交流を創出する	取組の 基本方向	「魅力ある観光と交流を創出する」ため、市民におもてなしの心を定着させていくための「おもてなしの向上」や、特色ある地域資源を観光に生かすための「観光資源の活用促進」に重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民自らも誇りを持つことで、多くの人に宇都宮に訪れてもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。
--------------	-------------------------------	----------------	----------------	-------------	---	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	観光資源の活用促進						④ 施策の達成状況	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	施策指標(単位)							-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値			
②施策目標	人・自然・文化など、本市の持つさまざまな観光資源が生かされ、多くの人が宇都宮に訪れています。						年間入込客数(千人)	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----	92.5%		
③施策を 取巻く環境	国・県等の動向		国においては、平成18年の観光立国推進基本法の制定以降、観光立国推進基本計画の策定や観光庁の発足をはじめとし、観光立国の推進に向けた観光地づくりなど様々な取組が進められている。また、県においては、「とちぎ産業プラン」が平成22年度をもって終了するため、現在、新たに観光振興計画を策定中である。					-----	13,533	13,885	14,259	14,659	15,000			
	外部意見 その他		観光スタイルの変化に伴い、新たな観光資源の開発や、体験型観光、イベント等の充実による既存資源の活用が求められている。					-----	13,837	13,879			-----			
								-----					-----			
⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足 度	32.5%	市民の 施策重要 度	53.0%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	施策指標の目標値はほぼ達成しており、年間入込客数は着実に増加している。				⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点	イベント開催や美観整備など市民団体が主体となった事業も継続されており、十分な成果がみられる。
					必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	観光スタイルの変化に伴い、新たな観光資源の開発や、体験型観光、イベント等の充実が求められている。					改善の必要な点	目標はほぼ達成しているが、より魅力的な観光都市を形成するため、新たな観光資源の開発やイベントのリニューアル化を図るとともに、近隣市町や民間企業との連携(広域連携、官民協働)体制を強化する必要がある。安全対策については、地域住民と一体となって取り組んでいく必要がある。
					適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	各種イベント来場者数を維持するためにも、イベントPRの強化を含め、観光宣伝事業の充実が必要である。						
					有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	本市観光資源の特性を考慮し、民間主体のさまざまな事業が展開されており、施策指標(年間入込客数の増加)の観点からは十分な効果をあげているといえる。						

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	より魅力的な観光都市を形成するため、各種観光事業においては、近隣市町との連携体制や市民団体等への支援体制を充実させていく必要がある。併せて、本市知名度向上のために、首都圏を中心に東北地方から中部地方までのエリアにおけるイベント等への参画体制を構築することにより、積極的な観光宣伝事業を展開する必要がある。また、安全対策における栃木県等の関係機関との連携強化を通じて、大谷地域の活性化に取り組んでいく。	⑨政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> 各種観光事業においては、近隣市町との連携やイベント開催等の関係団体等への支援を充実させるとともに、本市の知名度向上のため積極的な観光宣伝を実施していく。 特に重点事業として「首都圏キャンペーン参画事業」において、マスコミや旅行エージェントへのキャラバン等による宣伝活動を強化するとともに、首都圏で開催されるイベントへの積極的な参画により誘客活動を推進していくとともに、各種イベントにおいても、常に新しい魅力を創造するため、関係団体等と意見交換しながら内容の充実をさせていく。 また、「フェスタ in 大谷」において、さらに大谷観光の推進に寄与するため、イベントを核として日常的な大谷への誘客につながる内容の充実に向けて関係団体と意見交換しながら検討していく。
	重点事業	観光資源やイベントの開催情報などを各種媒体を利用した広報や、マスコミへのキャラバンやキャンペーンに積極的に参加するなど宣伝活動の強化し、誘客活動を推進していく。		
	見直し事業	フェスタ in 大谷事業をはじめとする各種イベントにおいて、常に新しい魅力を創出するためにも内容について見直しを図る。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費 (千円)	事業費 (千円)			
					実績値	実績値					
1	観光宣伝事業 担当課 観光交流課	来訪者, 市民, 市民以外	S59	観光パンフレット等作成部数	105,000	85,000	9,811	9,500	A	継続	観光情報媒体が多様化する中、効果的に来訪者を確保するため、ニーズやターゲットに応じた媒体の見直し等が必要である。
					58,200	72,100					
2	(財)大谷地域整備公社運営費補助金 担当課 産業政策課	(財)大谷地域整備公社	H2	観測システムによる常時監視	1	1	32,681	31,047	A	継続	観測システムの運用のほか、異変にいち早く対応するための巡回や補充調査など大谷地区の安全対策を総合的に行っており、大谷地域の安全の確保に貢献しているところであるが、今後とも、大谷石採取場の安全対策については、関係機関と連携を図りながら取り組んでいく必要がある。
					1	1					
3	広域観光宣伝事業 担当課 観光交流課	各種協議会	H3	加盟団体数	5	5	790	849	A	継続	観光情報媒体が多様化する中、効果的に来訪者を確保するため、各種団体と連携し、観光宣伝PR活動の充実を図る必要がある。
					5	5					

様式 2

4	首都圏キャンペーン参画事業		主に首都圏在住者	H21	参画イベント・キャンペーン数	—	5	—	281	B	継続	首都圏キャンペーンやイベント参画することにより、首都圏在住者等に直接PRが出来ることから来訪者への効果的な動機付けとなっているため、ブランド推進戦略室とも連携し、今後とも内容の充実を図り継続していく必要がある。
	担当課	観光交流課				—	5					
5	ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金		ふるさと宮まつり開催委員会	S50	来場者数	550,000	550,000	12,000	11,400	B	継続	本市最大規模のイベントであり、集客効果も高いことから、更に多くの市民の参加を促し、後世に残すために発展継続させていく必要がある。
	担当課	観光交流課				550,000	550,000					
6	うつのみや花火大会実行委員会補助金		うつのみや花火大会実行委員会	S59	来場者数	300,000	300,000	2,000	2,000	B	継続	花火大会の集客効果は非常に高いことから、引続き大会が継続されるよう、市民の主体的な取り組みに期待していく。
	担当課	観光交流課				250,000	350,000					
7	宇都宮バルーンフェスティバル活用事業		とちぎ熱気球選手権実行委員会	H18	宇都宮会場来場者数	100,000	100,000	500	500	B	継続	バルーン大会は、根強いファンや関係者等の県内誘客効果が期待できるので、関係自治体と連携しながら実施団体を継続的に支援していくとともに、会場選定や附帯イベントのあり方について見直しを図るなど、より集客効果の高いイベントとなるよう誘導していく必要がある。
	担当課	観光交流課				70,000	100,000					
8	フェスタ in 大谷交付金		フェスタ in 大谷実行委員会	H13	来場者数	30,000	30,000	4,771	3,500	B	継続	イベント開催でより多くの集客が図れるよう、また、来訪者に大谷の魅力を理解していただけるようなイベント内容の見直しについて実行委員会とともに検討していく必要がある。
	担当課	観光交流課				25,000	28,000					
9	インディ活用事業		インディ・ジャパン300プレイベント実行委員会	H17	プレイベント企画及び実施件数	8	8	500	500	B	継続	インディジャパンの開催に合わせ、茂木町に集結するインディカーレースファンや関係者をターゲットに実施する観光宣伝事業は、誘客及び効果も期待できることから、新たな民間事業者とともに官民協働で連携を図りながら、継続的に取り組んでいく必要がある。
	担当課	観光交流課				9	6					
10	大谷観光景観形成事業補助金		地元住民団体	H20	参加者数	100	100	2,000	2,000	C	継続	大谷観光推進基本計画区域内の景観を、地域住民自らが誇りと愛着を持って、観光資源として良好に保全・形成していけるよう、参加者数増加に向けた支援体制を充実していく必要がある。
	担当課	観光交流課				86	83					
11	まちかど観光体験館整備事業		まちかど観光体験館設置者(事業主)	H18	まちかど観光体験館設置件数	1	1	2,125	2,084	C	継続	体験型観光を促進する上で、まちかど観光体験館の増加は効果的であり、引続き増加させていくためには、対象施設に応じたエリアの弾力的な対応をする必要がある。
	担当課	観光交流課				1	1					
12	大谷石採石場跡地有効利用共同研究事業		地域及び地域住民	H21	有効利用に向けた基礎研究	—	1	—	4,279	C	継続	共同研究者を通して、活用事例や事業展開案等を用いた働きかけを行っていくなど、地域と民間事業者がスムーズな連携が図れる仕組みを検討する必要がある。
	担当課	産業政策課				—	1					
13	北関東交流フェア負担金		北関東自動車道沿線で交流フェアなどの連携事業を開催する自治体	H14	参加イベント数	6	5	3	19	C	継続	効果的・効率的に本市の魅力発信などを推進するため、北関東各県の沿線自治体との意見交換や情報交換を通し、一層の連携に努めながら積極的にPR活動に取り組んでいく。
	担当課	政策審議室				6	4					
施 策 事 業 費 合 計								67,178	63,661			